

F-REIの最近の動き (令和7年3月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIのこれまでの活動実績（令和6年度）」から令和7年3月分を浪江町役場で抜粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。

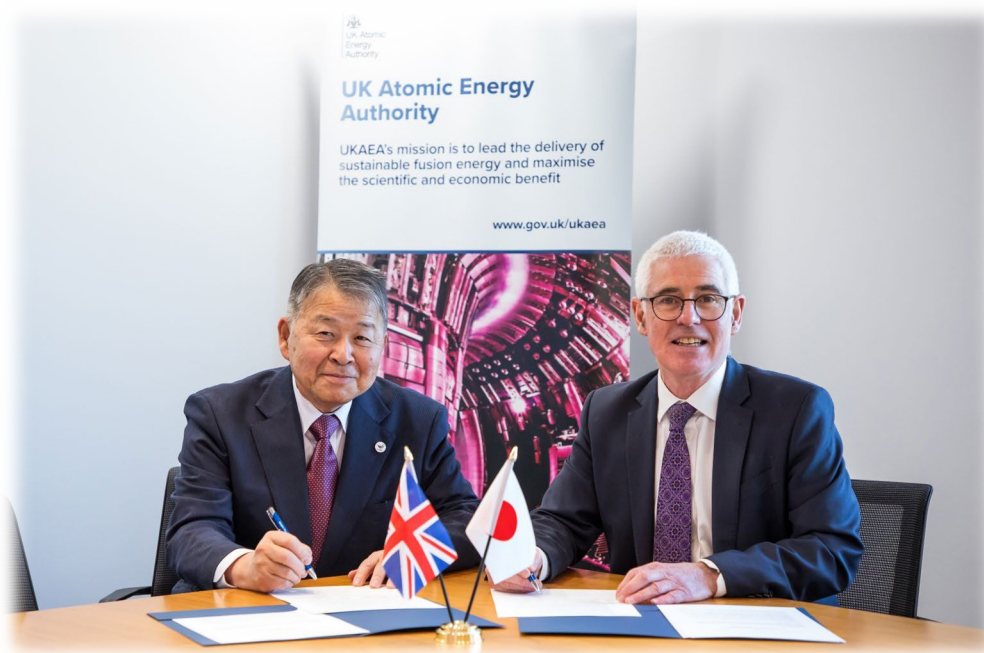
(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和7年3月4日（火） 英国原子力公社（UKAEA）と覚書の締結式を実施

3月4日、英国原子力公社（UKAEA）と
ロボット分野での協力に関する覚書（MOC）の
締結式を行いました。

山崎理事長一行が訪英し、英国ロンドン郊外に
あるUKAEAカラムキャンパスで締結式を実施し
ました。締結式では、山崎理事長とロブ・バッキン
ガム（Prof. Rob Buckingham）UKAEA理
事がMOCに署名を行いました。

その他、山崎理事長一行は、関連施設
（RACE、セラフィールド原子力関連施設、
RAICo1）を視察し、関係者と意見交換を行
いました。



令和7年3月12日（水） F-REI市町村座談会の開催（浜通り地域等・農林水産業分野）

3月12日、F-REI市町村座談会（浜通り地域等・農林水産業分野）を浪江町で開催しました。

本座談会は、研究開発・産業化・人材育成の取組における広域連携体制の構築を図るため、市町村や住民、企業・団体等、多様な主体と対話する場として開催するもので、今回はF-REIの研究開発分野の1つである「農林水産業分野」を取り上げました。

座談会では、F-REIの農林水産業分野における研究開発事業について報告を行った後、スマート農業の研究者や事業者、浜通り地域の農業従事者を代表する方々を交えたパネルディスカッションを行い、「スマート農業」をテーマに多様な視点から活発に議論いただきました。また、屋外の展示スペースにおいては、自動運転トラクタや農薬散布ドローン、農業用水利施設管理省力化ロボット等のスマート農業機械の展示を行い、各ブースには多くの来場者が集まり盛況を呈しました。



令和7年3月17日（月） 令和6年度第1回 F-REI産学官ネットワーク・セミナーを開催

令和7年3月17日（月）に、福島県内外の企業も巻き込んだ産学官の連携体制構築を目的に福島県内で初となる産学官ネットワーク・セミナーを郡山市（ホテルハマツ）で開催しました。

今回は、『“なりわい”における最先端技術の応用』と題して、第一部で、F-REIが実施する最先端のロボット研究等の紹介を行い、第二部では、福島県内外の企業からの産学連携事例の紹介を行いました。そして第三部では、第一部と第二部の登壇者が、企業との共同研究等、F-REIの研究成果の社会実装を目指すうえで取り組むべきことについてのディスカッションを行いました。

当日はオンライン含め、企業の皆様を中心に188名の大勢の方にご参加いただき、大盛況のうちに開催することができました。

※詳細は下記HPをご確認ください。

https://www.f-rei.go.jp/activity/f-re_20250327.html



令和7年3月19日（水） 出前授業の実施（安積高校）

3月19日、安積高校の物理学1、2年生に出前授業を実施しました。

秋田エネルギー副分野長が講師を務め、「福島国際研究教育機構における研究の概要と我が国における再生可能エネルギー活用」と題し、F-REIのエネルギー分野に関する研究紹介などを行いました。

秋田副分野長は、研究者目線で実験方法などについて助言を送りました。生徒たちは学校のプールで実験する方法を思いつくなど何かヒントを得ていたようで、秋田副分野長と活発な意見交換が行われました。



令和7年3月26日（水） 放射性物質の分析人材育成（現地訪問型研修）を開催

3月26日、放射性物質の分析人材育成（現地訪問型研修）を開催しました。

この研修は、放射性物質の分析業務に従事する人材の裾野を広げることを目的に開催したもので、当日は、企業、大学等から16名の方にご参加いただき、福島第一原子力発電所、JAEA 大熊分析・研究センターを訪れ、廃炉作業の進捗状況や放射性物質の分析業務について学びました。



令和7年3月27日（木） 国立大学法人筑波大学と基本合意書を締結

3月27日、国立大学法人筑波大学とF-REIは連携協力に関する基本合意書を締結しました。

今後、この基本合意書に沿って、双方の資源を有効に用いるなど互恵的な連携協力を進めていきます。



世界に冠たる 「創造的復興の中核拠点」へ